

読んで安心 ぬくもり情報

なご わ
和みの輪

第3号
平成17年4月1日

発行所

医療法人博俊会 春江病院

〒919-0414

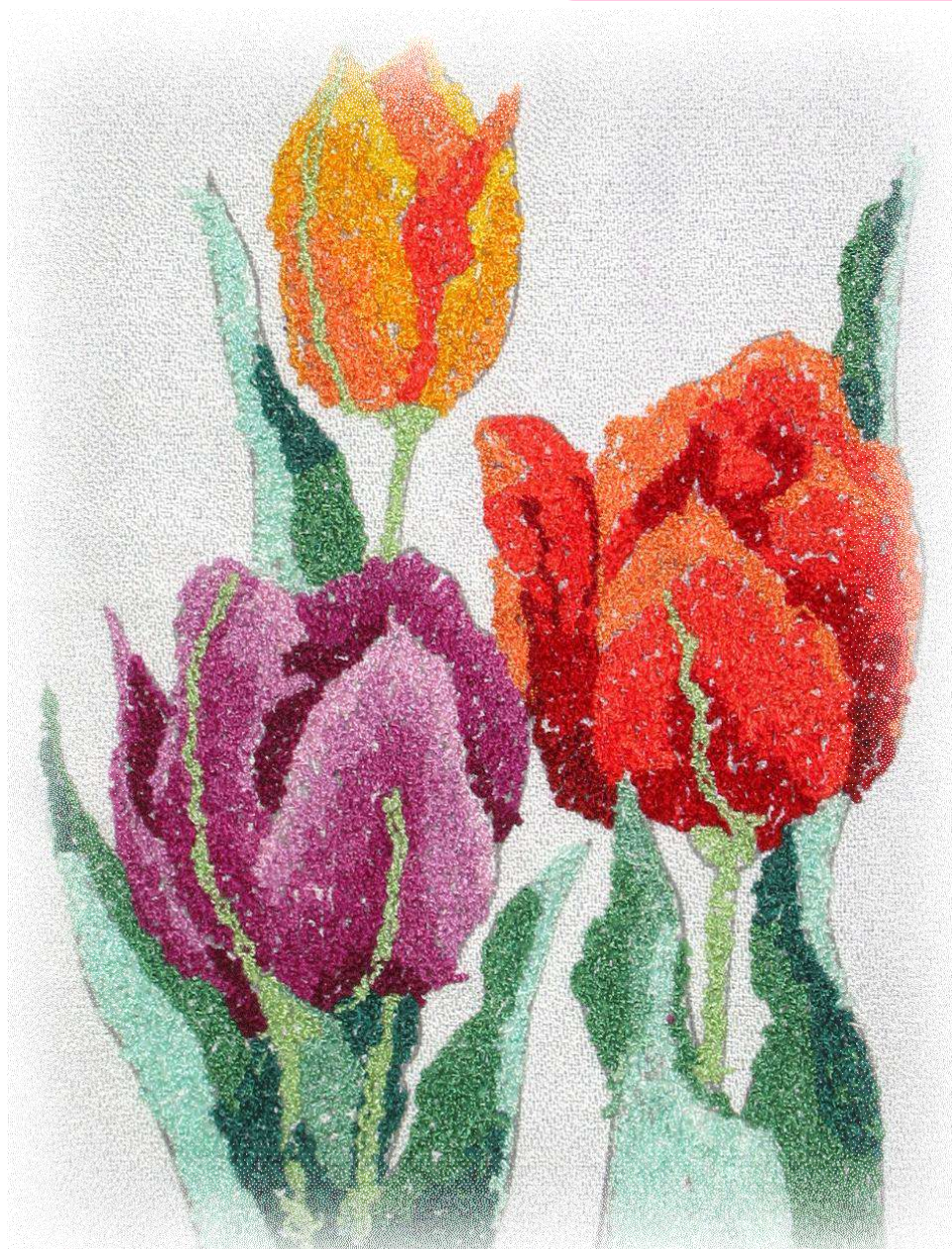
福井県坂井郡春江町

江留下屋敷62-5

TEL 0776-51-0029

FAX 0776-51-6163

ホームページ <http://www.harue-hp.org/>



表紙作品『チューリップ』の刺繍
鈴木和子様作品です

Contents

- ◆ インフォームド・コンセント
- ◆ 教えて！病気のおはなし 第2回「胸痛」
- ◆ 各科からの胸痛関連情報／検査科 看護部 薬剤科
- ◆ 新任医師の紹介／ひなまつり／栄養科表彰／どうして？病院のココ
- ◆ 新しいCTの導入／MRI紹介
- ◆ 在宅医療部について／春江病院の概要／基本理念／院是／編集後記

インフォームド・コンセント

当院におけるインフォームド・コンセントの取り組み

インフォームド・コンセントとは、『医師あるいは医療従事者が患者様の病名や病状、行おうとする検査や治療について十分な説明をし、患者様はその説明内容を理解し、納得・同意したうえで自らが選択した検査や治療をうける』

インフォームド・コンセントとは？



春江病院副院長
内科医師
呼吸器科

お夫 一夫
お森 重

という、診療上の原則です。
患者様が選択する医療のために

以前より、『医療に関することは専門家である医師に任せておけばよい。それが患者様のためになる』と言う考えが、医療者だけでなく一般の方々にも受け入れられていたように思います。しかし、近年医学の進歩により行われる検査・治療が高度化するとともに、人々の医学に対する知識も向上し、以前より患者様の医療に対する期待がより高まってきております。

師が選択した医療』に対する反省から、『患者様自身が自由な意思で選択した最善の医療』を行うため、インフォームド・コンセントの重要性が唱えられています。ある意味では、『おしつけの医療』から、『患者様中心の医療』への脱却をめざすものです。

当院での取り組み

当院では、従来より患者様中心の医療をめざしていたものの、はっきりと形として現わしているものはありませんでした。そこで、平成十四年八月、病院基本理念を『地域医療の担い手として住民に信頼される病院』とし、さらに病院基本方針の一つとして『患者様の権利・人格を尊重し、患者様本位の医療を行う』を掲げ、インフォー

当院の現状と問題点

しかし、当院の現状として一人の医師が外来診療時間の間に多くの患者様の診察をせざるを得ないこともあります。



インフォームド・コンセントの実施のためには、十分な診察時間と説明が不可欠ですが『患者様の待ち時間』の問題とを両立させることが困難となる場合もあります。また、理想とするインフォームド・コンセントのためには、患者様より選択および同意をいただく前に、患者様が医師の説明を十分に理解していただいていることが大前提となります。ところが、場合によっては、『話が難しすぎる』、『こんなこと聞いて大丈夫だろうか』、『医師・看護師が忙しそう、または怖い』といった理由から、上辺だけの理解・納得のまま同意をされている患者様がいらつしやるのではないかと私たちは危惧しております。しかし、

私たちは患者様の理解度を確認する具体的な手段を持ち合わせていないのが現状です。
理想的なインフォームド・コンセントのために
 私たちは、このような状況に決して満足はしておりませんし、最も重要な改善事項と受けとめております。理想的インフォームド・コンセントの成否には、前に述べたように私たちの説明に対する患者様の十分な理解が不可欠です。そのために、医学的には素人である患者様が十分に理解をし最善の医療を選択していただけるよう、いかにわかりやすく説明できるか職員一同で学習し真剣に取り組んでいます。また、患者様も病気・検査・治療に対する理解が不

当院玄関掲示

～当院はインフォームド・コンセントを推進しています～

○インフォームド・コンセントとは？

患者様が医師等から診察内容や診療の必要性、診療方針、検査、診療による結果等について、十分な説明を受け同意した上で医療を行うことです。

当院では、「信頼される病院」を理念に、「患者様の権利・人格を尊重し、患者様本位の医療を行う」ことを基本方針としております。患者様には分かりやすい説明を行い、十分に理解と納得をいただいたうえで、診断、検査、治療を行わせていただきます。

1. 分かりやすい言葉でご説明いたします。

- 医師や看護師などの医療スタッフの説明が分かりにくい場合は、遠慮なくお申し出ください。直接相談しにくい場合は「医療相談室」にご相談ください。
- ご説明の際は家族の方も同席出来ます。
- 救命救急処置など、時間的余裕がないような場合は十分な説明と同意が行われぬ場合があります。その際には医の倫理を遵守し、最善の治療をさせていただきます。

2. 患者様に決定権があります。

- 説明に十分納得できない場合は、同意を拒否・保留できます。
- 病気によっては幾つかの治療法がございます。説明を十分に受けた上で、ご自分が最も望む治療法を選択してください。
- 他の医療機関での意見を聞くことも可能です。その場合でも患者様の不利になることは決してありません。
 (※「セカンド・オピニオン」の掲示もご覧ください。)

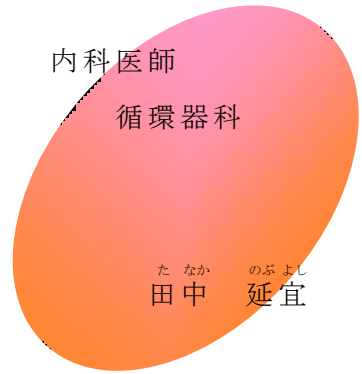
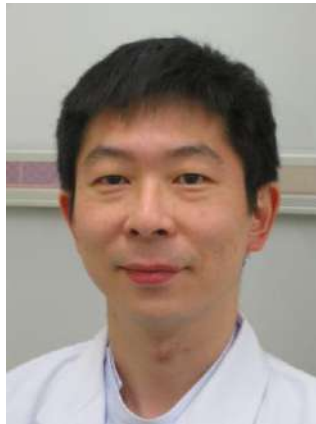
ご不明な点については、担当医師、または「医療相談室」までお気軽にお尋ねください。

十分なまま、選択・同意されることのないよう、私たち医療者側に問いかけていただきたいと願っております。そのためにも私たちが職員一同、皆様と心ある対話を通じてお互いの間に確固たる信頼関係を築くよう尽力していきたいと考えております。

第2回『胸痛』

どんな痛みなのかを正確に医師に伝えることで、
迅速な診断・治療が可能になります。

胸痛の原因には、瞬時に命を奪ってしまうような急性心筋梗塞などの心臓の病気から、胸膜炎、食道炎、肋間神経痛などの心臓以外の病気によるものなど様々有ります。これらは胸痛の性状でおおよその診断がつく事が多く、患者様からの話が、重篤で急を要する病気を見つげ出す



胸痛の原因には、瞬時に命を奪ってしまうような急性心筋梗塞などの心臓の病気から、胸膜炎、食道炎、肋間神経痛などの心臓以外の病気によるものなど様々有ります。これらは胸痛の性状でおおよその診断がつく事が多く、患者様からの話が、重篤で急を要する病気を見つげ出す

胸痛の原因には、瞬時に命を奪ってしまうような急性心筋梗塞などの心臓の病気から、胸膜炎、食道炎、肋間神経痛などの心臓以外の病気によるものなど様々有ります。これらは胸痛の性状でおおよその診断がつく事が多く、患者様からの話が、重篤で急を要する病気を見つげ出す

胸痛の原因には、瞬時に命を奪ってしまうような急性心筋梗塞などの心臓の病気から、胸膜炎、食道炎、肋間神経痛などの心臓以外の病気によるものなど様々有ります。これらは胸痛の性状でおおよその診断がつく事が多く、患者様からの話が、重篤で急を要する病気を見つげ出す



鍵となることがあります。重篤で急を要する胸痛とはどのような時でしょうか？
『突然、胸を絞めつけられるような持続する痛み』や、『冷汗、吐気を伴い頭から血の気が引くような感じを伴う痛み』などでまず考えられるのは、急性心筋梗塞です。これは心筋（心臓の筋肉）の冠状動脈（血液を送る血管）に血栓（血の塊）が詰まり、心筋が壊死する病気です。一刻も早く詰まった血管を開通させる治療が必要です。心筋梗塞は血管が詰まる病気であるのに対し、狭心症は冠状動脈が動脈硬化で細くなり、心筋に送る血液が不足する病気です。『階段を昇った時、重い荷物を持った時、急いで走つ

た時などに胸が絞め付けられるような痛み』を自覚します。胸痛は安静にて五分程度で和らぎ、ニトログリセリンという薬が発作を軽快させます。動脈硬化によって細くなった血管は風船のついた細い管で広げたり、バイパス手術を施行する事によって治療します。狭心症には血管が痙攣して起こるタイプもあります。『早朝や就寝前などの安静時に起こる胸痛』が特徴です。このタイプの狭心症は血管の痙攣を予防する薬にて治療が可能です。これらの狭心症の発作は心筋梗塞の前兆であることがあります。特に、糖尿病をもっている方では、自覚症状が出ていくので注意しましょう。

他に緊急を要する胸痛 『背中にに放散する激的な胸痛』は大動脈に亀裂が入る解離性大動脈瘤、『長時間座った後で、立ち上がった時に起こる胸痛と呼吸困難』は足の静脈でできた血栓が肺動脈まで流れて詰まる肺塞栓症（エコノミークラス症候群）という病気を疑わせます。胸痛を引き起こす病気には多彩な病気がありますが、大事なことは『おやっ』と思っただけならなるべく早く内科もしくは循環器科に受診して頂く事だと思えます。

他に緊急を要する胸痛

各科からの胸痛関連情報

検査科

胸痛の時に
行う検査

胸痛の原因を調べる為に、まずは心電図検査を行います。心電図の波形の変化により心筋梗塞や狭心症になっていないかを判断します。また、さらに詳しく調べる心臓超音波検査があります。超音波検査では心臓の状態・動きの悪い場所を評価します。X線検査と違って被爆の心配はありませんし、検査での苦痛もありません。また、狭心症の原因の一つとして動脈硬化があります。この病態を調べる検査（ABI）も行っています。両手・両足の血圧を測り血圧の上がり具合で動脈硬化の程度を評価する検査です。



超音波検査で心臓の動きを検査しています。



この機械で動脈硬化の程度を評価します。

看護部

日常生活について

胸痛の原因を予防するためには、日常、以下の点に注意しましょう。

- ◇ ストレスを避ける。
- ◇ 禁煙する。
- ◇ 規則正しい生活を送る。
- ◇ アルコールを減らす。



日常生活を見直す事が健康な体作りの近道です。胸痛の症状がでたら出来るだけ早く受診し、適切な治療を受けましょう。

薬剤科

ニトログリセリン（ニトロペン）について

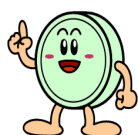
使用方法：胸痛発作が起きたり始まりそうになったら、安静にして一錠取り出し舌の下に入れて溶かして下さい。1分ほどで効き始めます。

使用上の注意：血圧が下がりすぎて立ちくらみやめまいを起こす事があります。使用するときには座って使用して下さい。

副作用：一時的な頭痛、顔や体がほてる事があります。症状が治まらなかったりひどくなった時は主治医に相談してください。

保管上の注意：必ずアルミ包装のまま携帯、保管してください。ズボンの後ろポケットには入れないで下さい（錠剤が潰れる事があります）。

※不明な点は前もって医師又は薬剤師に相談しておきましょう。



新任医師の紹介



整形外科医師

ただし
が賀
た多

昨年十月より整形外科の診療に携わっております。岐阜大学を卒業後、公立松任病院、福井県済生会病院、富山県立中央病院などで勤務してまいりました。出身地は石川県金沢市で春江町の方はアットホームな方が多い印象を受けます。私のモットーは人に優しく自分に厳しくと、日々の診療を行っております。医師として一年目の頃に持っていた情熱・向上心を常に忘れないように診療にあたりたいと思います。

とにかく日進月歩の最新医学の知識に遅れないように努力させて頂きたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。

ひなまつり



去る二月二十五日に厚生委員会主催のひなまつり会が行われました。ひな人形を飾りボランティアによる大正琴、厚生委員による手品、リハビリ音頭といった催し物が行われました。

催し物とひな人形を観ながら楽しい時を過ごすことが出来ました。最後にひな人形を囲んで皆様笑顔で写真を撮りました。厚生委員一同、今後もよりよい企画を考え入院患者様に少しでも楽しんで頂けるよう頑張っていきたいと思えます。



栄養科が表彰されました

平成十六年度全国栄養改善大会が、昨年十月二十一日に開催されました。この大会で当院が優良特定給食施設として厚生労働大臣より表彰されました。『保温食器を使用した適温給食の開始や個別対応食、選択メニューの取り組み、又、最近では患者様個々に合った栄養管理チームへの参画等』が評価の対象との事です。今後は更に研鑽を重ね、栄養管理を伴った患者様へのおいしい食事の提供と、栄養食事指導を通して患者様、地域の方々への生活習慣病の予防や健康作りに取り組んでいきたいと思っております。



最近の看護ON

最近看護師さんがナースキャップを被っていないのはなぜ

ナースキャップはナイチンゲールが被っていた白い帽子が起源で、当時は髪の毛が落ちないように頭を覆っているものでした。その後小さくなり、看護師のシンボルとしての役割に変化してきました。しかし、現在はナースキャップをピントさせる天然糊は菌を繁殖させる事がわかってきたことや、患者様の介助の際に邪魔になる事などの理由から、全国的に廃止する施設が増えてきました。以上の理由で当院の看護師も、平成十四年六月からナースキャップを廃止いたしました。以後、当院看護師はナースキャップという「イメージシンボル」に頼らず専門職としての仕事ぶりで患者様に安心と信頼を持って頂くよう頑張っています。



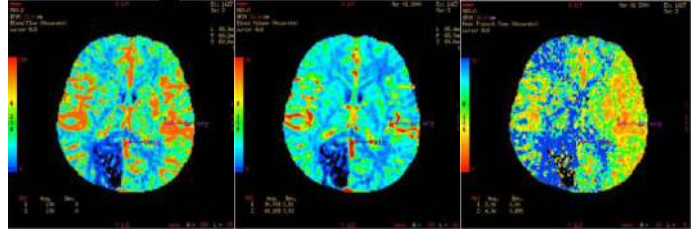
新しい CT の導入

平成十六年九月より、新しい CT が導入されました。従来機種と比較すると、約半分の時間で撮影可能となり患者様の身体的負担が軽くなりました。

各部位における血管造影検査、CT 灌流検査（脳血流の状態）、3D 立体画像検査が可能となりました。



今回導入された CT です。



脳の CT 灌流画像



脳血管の 3D 立体画像



腹部血管の 3D 立体画像

MRI 紹介



当院の MRI です。

MRI においても平成十七年三月より新しいソフトに入れ替えました。このことにより、

① 頭部 MRI において拡散強調画像の撮影が可能となりました。（拡散強調画像は急性期の脳梗塞診断に有効な撮影方法の一つです。）

拡散強調画像



拡散強調画像



脳梗塞

膝の通常画像



膝の水画像



② 四肢や骨盤など脂肪を多く含む部位において水・脂肪分離撮影も可能となりました。（この撮影方法は、骨折や炎症などを診断するのに有効な検査です。）

在宅医療部について

専門職が在宅での療養生活をお手伝いします。

(医師)



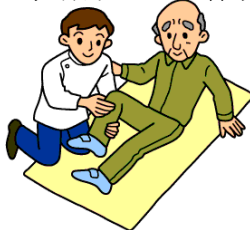
- ・病気や身体についての相談
- ・日常生活についての相談
- ・その他（薬、食事など）

(看護師)



- ・病状の観察
- ・床ずれの処置
- ・介護指導、相談
- ・リハビリなど

(理学療法士・作業療法士)



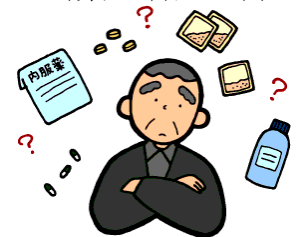
- ・身体機能の維持、改善
- ・日常生活動作の練習
- ・歩行練習
- ・自室など環境の整備

(管理栄養士)



- ・お食事や栄養に関する事
- ・とろみ食品などのご紹介
- ・介護食事について
(きざみ食、ミキサー食など)

(薬剤師)



- ・薬の名前、効果
- ・薬の副作用
- ・薬の管理方法

※ 詳細につきましては居宅介護支援事業所 ☎ 5 1 - 1 9 8 2 までご連絡下さい。

春江病院の概要

一般病床：116床

電話番号：0776-51-0029

療養病棟：21床 { 療養病床：11床
介護病床：10床（※ 介護療養型医療施設）

診療科目：外科、内科、呼吸器科、胃腸科、循環器科、アレルギー科、
リウマチ科、整形外科、形成外科、脳神経外科、肛門科、眼科、
リハビリテーション科、放射線科

救急・労災指定病院：救急に必要な診療科を設置し、24時間態勢で患者様を受け入れております。

その他人間ドックや企業健診なども行っております。

編集後記

医療法人博俊会の取り組み状況などをお知らせし、ご理解頂ければと思っております。今後とも読み応えのあるわかりやすい「和みの輪」作りに向けて努力してまいりますので引き続きご愛読していただくと幸いです。(Y.S)

【基本理念】 地域医療の担い手として
住民に信頼される病院

【院 是】 一 医療レベルの向上
一 和を以て尊しと為す
一 患者様への適切な対応
一 地域医療への参画